



患者自記式による主観的包括的評価 (PG-SGA)
 1~4 欄は患者さんが記入してください。
 [第 1~4 欄で PG-SGA 短縮版(SF)と呼ばれます]

患者 ID 番号

1. 体重 (ワークシート 1 を参照)

私の現在および最近の体重についてまとめると：
 私の現在の体重は約 _____ kg です。
 私の身長は _____ cm です。

1 ヶ月前の私の体重は約 _____ kg でした。
 6 ヶ月前の私の体重は約 _____ kg でした。

この 2 週間に私の体重は：

- 減りました (1) 変わっていません (0) 増えました (0)

第 1 欄

2. 食事の摂取：私の普段の食事量と比べて、この 1 ヶ月間の食事量は：

- 変わっていない (0)
 普段より多い (0)
 普段より少ない (1)

私の今の食事は：

- 普通の食事だが、通常量よりは少ない (1)
 固形物をほんの少し (2)
 重湯など流動食のみ (3)
 栄養剤のみ (3)
 ほとんど何も食べられない (4)
 チューブや点滴による栄養のみ (0)

第 2 欄

3. 症状：私は以下のような問題があって、この 2 週間十分に食べられない状況が続いています (当てはまるものすべてをチェック)：

- 問題なく食べられた (0)
 食欲がなかった、または食べようという気にならなかった (3) 嘔吐 (3)
 吐き気 (1) 下痢 (3)
 便秘 (1) 口の渇き (1)
 口の中の痛み (2) においが気になる (1)
 味がおかしい、または味がしない (1) すぐに満腹になる (1)
 飲み込みにくい (2) だるさ (1)
 痛み；どこですか？ (3) _____
 その他 (1) ** _____

**例：気分の落ち込み、経済的な問題、歯の問題” 第 3 欄

4. 活動と機能：

この 1 ヶ月間の私の活動を全般的に評価すると：

- 何の制限もなく普通に活動できた (0)
 普段通りではないが、起き上がっておおむね普通に近い活動ができた (1)
 ほとんどのことができないと思われたが、ベッドや布団、または椅子で過ごすのは半日以下だった (2)
 ほとんど活動できず、一日の大半をベッドや布団、または椅子で過ごした (3)
 ほとんど横になっていてベッドや布団から出ることはまれだった (3)

第 4 欄

ここからは担当医、看護師、栄養士またはセラピストが記入します。ありがとうございました。

第 1~4 欄の合計点

A

患者自記式による主観的包括的評価 (PG-SGA)

ワークシート1 体重減少のスコア判定

第1欄の点数の決定には、可能ならば過去1ヶ月間の体重データを使用する。過去1ヶ月間の体重データがない場合に限り、過去6ヶ月間の体重データを使用する。体重変動の採点には、以下の点数を使用し、患者の体重がこの2週間で減少している場合はもう1点加算する。合計点をPG-SGAの第1欄に記入する。

1ヵ月間の体重減少	点数	6ヵ月間の体重減少
10% 以上	4	20% 以上
5-9.9%	3	10 - 19.9%
3-4.9%	2	6 - 9.9%
2-2.9%	1	2 - 5.9%
0-1.9%	0	0 - 1.9%

ワークシート1のスコア

第1~4欄の合計点 (1枚目を参照)

 A

5. ワークシート2 - 疾患とその栄養必要量との関係:

スコアは以下の各項目に該当する毎に1点加算して求める:

- がん
- AIDS
- 呼吸器疾患または心疾患による悪液質
- 慢性腎不全
- 褥瘡、開放創または瘻孔あり
- 外傷あり
- 65歳以上

その他の関連する診断 (具体的に) _____

原疾患の病期 (分かっている場合、あるいは適切なものを○で囲んでください)

I, II, III, IV, その他 _____

ワークシート2のスコア B

6. ワークシート3 - 代謝による必要量の増加

タンパク質やエネルギーの必要量を増やすことがわかっている要因の数によって、代謝ストレスのスコアを計算する。**注意点: 熱の高さか持続期間のスコアの高い方を採用する。**スコアは加算制で、例えば72時間未満の(1点)38.8°Cの発熱(3点)、プレドニゾン10mgの長期投与を受けている(2点)患者は、この項の合計点は5点となる。

代謝ストレス	なし (0)	軽度 (1)	中等度 (2)	重度 (3)
発熱の高さ	なし	> 37.2 and < 38.3	≥ 38.3 and < 38.8	≥ 38.8 °C
発熱の持続時間	なし	< 72 hours	72 hours	> 72 hours
コルチコステロイド	なし	低用量 (< 10 mg プレドニゾン換算量/日)	中等用量 (≥ 10 and < 30 mg プレドニゾン換算量/日)	高用量 (≥ 30 mg プレドニゾン換算量/日)

ワークシート3のスコア C

7. ワークシート4 - 身体所見

身体所見は、体組成の3要素: 体脂肪、筋肉、体液の主観的評価を行う。主観的評価であるため、所見の各領域は程度によって評価される。筋肉量の減少は脂肪量の減少よりもスコアに大きく影響する。カテゴリーの定義: 0=異常なし、1+=軽度、2+=中等度、3+=重度。これらのカテゴリーの(筋肉量・体脂肪量)減少のスコアは加算式ではなく、(筋肉量・体脂肪量)減少(または過剰な体液貯留)の程度を臨床的に評価するために用いる。

筋肉の状態

	0	1+	2+	3+
側頭部 (側頭筋)				
鎖骨下部 (胸筋&三角筋)				
肩 (三角筋)				
手骨間筋				
肩甲骨 (広背筋、僧帽筋、三角筋)				
大腿 (大腿四頭筋)				
ふくらはぎ (腓腹筋)				
筋肉の状態の総合評価	0	1+	2+	3+

体脂肪の蓄積

	0	1+	2+	3+
眼窩脂肪体				
上腕三頭筋皮下脂肪				
下部肋骨を覆う脂肪				

体脂肪の減少の総合評価 0 1+ 2+ 3+

体液の状態

	0	1+	2+	3+
くるぶしの浮腫				
仙骨部の浮腫				
腹水				

体液の状態の総合評価 0 1+ 2+ 3+

体組成の悪化 (筋肉や脂肪の減少や体液の貯留) に対する全体的な程度を主観的に評価して、身体所見のスコアを計算する。
 低下なし score = 0 points
 軽度の低下 score = 1 point
 中程度の低下 score = 2 points
 重度の低下 score = 3 points
 前述のように、筋肉量の低下は体脂肪の減少または過剰な体液貯留よりも重視される。

ワークシート4のスコア D

PG-SGA 合計スコア (A+B+C+Dの合計スコア)

Clinician Signature _____ RD RN PA MD DO Other _____ Date _____

PG-SGA カテゴリー総合評価 (ステージ A、B、または C)

ワークシート5 PG-SGA 総合評価カテゴリー

カテゴリー	Stage A 栄養状態良好 体重減少なし	Stage B 中等度の栄養障害/栄養障害の疑い 1ヵ月間の体重減少率≤5% (6ヵ月間で≤10%)、 または、体重減少の進行 栄養摂取量の明らかな減少	Stage C 高度の栄養障害 1ヵ月間 体重減少率>5% 6ヵ月間で>10%)、 または、体重減少の進行 栄養摂取量の重度の不足
栄養摂取	不足なし、または最近著明な改善あり	NISあり (PG-SGAの第3欄)	NISあり (PG-SGAの第3欄)
栄養状態に影響する症状 (NIS)	改善があり十分な栄養摂取が可能になった		
機能	低下なしまたは最近著明な改善あり	中等度の機能低下、または最近悪化	重度の機能低下、または最近著しく悪化
身体所見	低下なし、または慢性的に低下しているが、最近臨床的に改善	筋肉量、かつ/または、触診時の筋緊張、かつ/または、皮下脂肪の軽度~中等度の減少	低栄養状態の明らかな所見 (例: 重度の筋肉量、または脂肪量の低下 また、浮腫も認める可能性あり)

栄養トリアージの推奨: 患者および家族への教育をはじめとする栄養学的介入や、薬物治療を含む症状管理、適切な栄養介入 (食品、栄養補助食品、経腸栄養または静脈栄養などの選択) を決定するために、全体の合計点を使用する。

はじめに行われる栄養介入には、**症状マネジメントを最大限行うことを含む。**

PG-SGA スコアに基づくトリアージ

- 0-1 現時点で介入は不要。治療中は日常におよび定期的に再評価を行う。
- 2-3 症状の調査 (第3欄) および検査値に基づいて、薬物療法とともに、栄養士、看護師、またはその他の医療者が、患者および家族への教育を必要があれば行う。
- 4-8 症状の調査 (第3欄) に基づき、看護師または医師と連携して栄養士が介入する必要がある。
- ≥ 9 症状マネジメントの改善および/または栄養介入の選択が緊急に必要である。